

米同時テロ 菅波 茂・アムダ代表に聞く

市民の犠牲避ける対策を

米国での同時多発テロ事件で、岡山市に拠点を置く医療NGO（民間活動団体）「アムダ」（AMDA）は二十一日、ニューヨークの現場に医師ら二人の緊急医療チームを派遣した。当初は事態を静観していたアムダが派遣に踏み切ったいきさつなどを二十一日、アムダ本部で菅波茂代表（54）に聞いた。

（岡山支局 阿利 明美）

——現地に医療チームを反省している。ハリウッド派遣した意味は。映画は「アメリカ力は強い」というイメージを全世界に植え付けているが、私も互いさま」という理念からその幻想に引っかけた出たことで、阪神大震災で即座に支援金を送ってくれたユタヤ系アメリカ人の団体へのお礼の意味もある。う思い込みがあった。その後、復旧作業が長引き、日本人も被害者だという思いもあって、私自身が派遣しなかったことを大変遣を決めた。

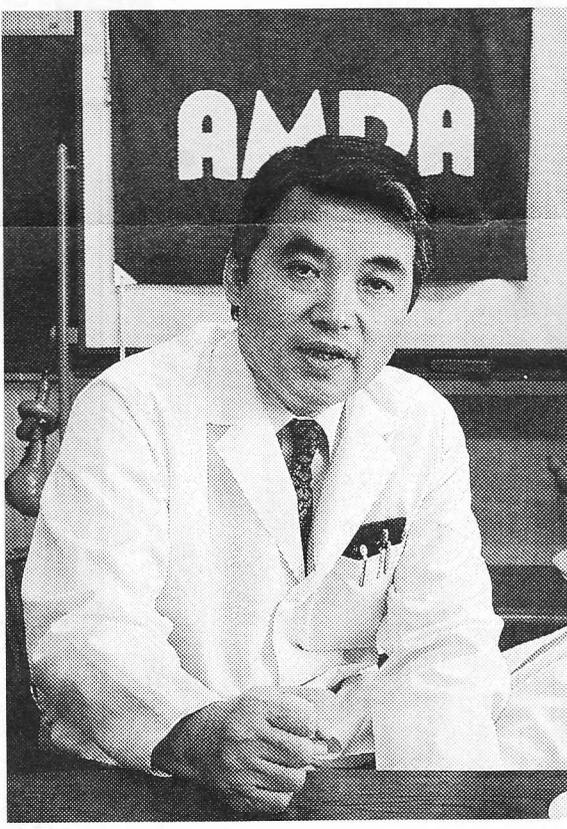
——対テロ軍事行動についてどう思うか。テロに報復は必要だ。しにさらされるアフガニスタン国民を支援する対策も整「行動」よりも力強い「言葉」に心を動かされる。ア

かし、米国のアフガニスタンへの攻撃はピンポイントで行うべきで、一般市民の犠牲があつてはならない。アメリカ力は攻撃だけでなく一番の犠牲者となつて貧困大事だ。キリスト教、イスラム教、ユタヤ教の信者は

——日本は何が出来るだろうか。小泉首相が「反テロ・人道支援」のメッセージを全世界にアピールすることが世界にキリスト教、イスラム教、ユタヤ教の信者は「行動」よりも力強い「言葉」に心を動かされる。ア

見る 聞く 探る

ル。ポ岡山



反テロ・人道支援を訴える菅波代表（アムダ本部で）

アフガン国境地帯支援も計画

——自衛隊派遣が問題となつているが。日本は自衛隊を派遣すべきだ。しかし、後方支援などに限定すべきで、決して（攻撃的な）軍事行動には同調してはならないのは言うまでもない。

——今後の活動予定は。必要なら今週中にも第二陣を米国の現地に派遣したい。また、アフガニスタン方面では、すでにアムダのパキスタン支部が支援活動の可能性を模索しており、可能ならばアフガニスタンとの国境地帯で支援活動をしたいと考えている。

このシリーズでは、記者が面白いと感じたこと、じっくり話を聞きたいと思つた人、もっと掘り下げて取材したいと思つたテーマを多角的に取り上げます。

このシリーズでは、記者が面白いと感じたこと、じっくり話を聞きたいと思つた人、もっと掘り下げて取材したいと思つたテーマを多角的に取り上げます。